

平和とよりよき生活のために

広島の せいきょう

第33号 2011年7月31日

広島県生活協同組合連合会発行

〒730-0802

広島市中区本川町二丁目6-11

第7ウエノヤビル5F

TEL 082-532-1300

FAX 082-232-8100

E-mail: kenren.h@proof.ocn.ne.jp

URL: http://hiroshima.kenren-coop.jp

東日本大震災 会員生協レポート ～つながる力・支援の輪～

東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

生協では復興・復旧を後押しするさまざまな活動を行っています。中央組織の要請(日本生活協同組合連合会、日本医療福祉生活協同組合連合会、全国大学生生活協同組合事業連合、全国コープ共済生活協同組合連合会、全国労働者共済生活協同組合連合会等)を視野に、県内各生協では、発災直後速やかに災害支援本部を設置し、物資調達・運搬や人的支援等の準備体制を整えました。同時に組合員に対しては募金活動や物資提供を呼び掛け、医療生協職場内では「給与1日分」を目標に掲げて募金に取り組みました。県内生協の募金額累計は既に1億円を超え募金活動は現在も継続しています(2ページ参照)。

地震・津波・原子力発電所事故と原因も多岐にわたり、支援のニーズも様々です。復興には長期的な支援を要しますが、今回は震災後間もない会員生協の初動について紹介します。

購買生協では緊急車両証を取得し北陸経由で物資(水ペットボトル、米、燃料(軽油)、インスタントカップ麺、マスク、カイロ等)を運搬し、現地では店舗組合員の安否確認や倒壊した店舗・組合員宅の瓦礫撤去や片付け、避難所への支援物資の搬送等をおこないました。医療生協では、医師や看護師、検査技師等の派遣、福島県の実験事故現地調査に参加しました。共済支援としては、各家庭を訪問し、被災状況の調査や共済金のお支払い等を行っています。現地の状況は、各生協が発行する支援ニュースや報告会の開催などで、都度組合員にお伝えをしています。詳しくは、当会のHP「東日本大震災・広島県内生協の取り組み」をご覧ください。

生協ひろしま

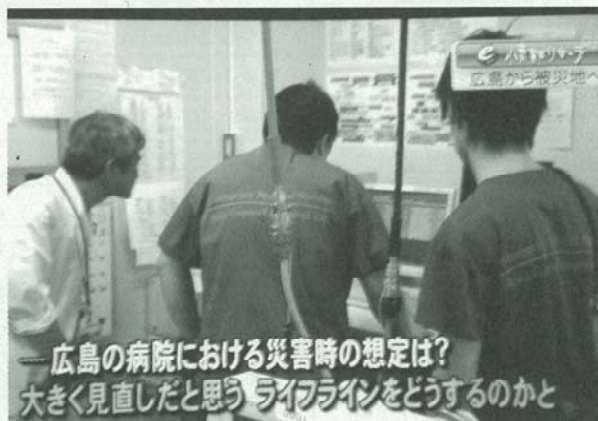


支援隊第1陣出発式(3/17)



支援物資の積み込み作業

広島中央保健生協



— 広島病院における災害時の想定は？
大きく見直したと思う ライフラインをどうするのかと

生協さえき病院福山院長の支援に、RCC放送「イブニングフォー」が密着取材。4月4日放送。

広島医療生協



坂総合病院に向かう第2陣医療支援チーム。



職員・組合員・患者さんから寄せられた大量の支援物資。
お米も寄せられました。

福山医療生協



福山駅前での募金活動(3/14、3/22、4/14)

CSネット



復興支援応援ブレスレット。仕入れ差額が義援金に。1コ200円。

東日本大震災支援 募金額

(6月30日現在)

生協名	金額(円)	備 考
広島県学校生協	887,453	※募金以外に東日本復興支援商品企画として62,026円を送金
広島県高等学校生協	266,708	※COOP商品普及月間・震災復興支援価格募金
日立造船因島生協	1,363,958	
竹原生協	1,054,996	
生協ひろしま	77,178,684	
グリーンコープひろしま	15,450,200	
広島大学消費生協	405,435	
広島修道大学生協	63,916	
広島中央保健生協	3,723,692	別途、支援活動費として組織より100万円
広島医療生協	2,514,436	別途、支援活動費として組織より100万円
福山医療生協	1,718,434	
広島県労働者共済生協	1,546,000	別途、全労済(全国)として1億1千万円
CSネット	140,000	職員カンパ
県 連	138,460	※うち、10万円は生協ひろしま碑めぐりガイドの会より
計	106,452,372	

東日本大震災への会員生協の取り組み

生協名	取り組み
広島中央 保健生協	●医療支援について 第1陣～第7陣(3/19～5/15) 医師・看護師・放射線技師等 各4～8日間 1～3名派遣 ●支援物資について 第1陣～第2陣(3/19～3/27) 各3～4日間 2名派遣 日本医療福祉生協連の物資支援センター(新潟)を通じて、郡山医療生協、福島医療生協、福島中央市民生協に届ける。 ・3/31までに寄せられた物資は郡山医療生協と浜通り医療生協に宅急便で送付。 ●カンパについて 病院等窓口に、募金箱を設置。組織としてのカンパ100万円を本部費から捻出。理事会は理事報酬をカンパに当てる。職員は1日分の給与を目安にカンパ。 ●原発事故・福島県現地調査 藤原副理事長が福島県現地調査に参加。 ●原発事故現地調査及び医療支援等の報告会開催(福島生協病院、生協さえき病院) ●生協さえき病院の利用委員会の組合員が「ひまわりの種」(放射性物質を取り込み被災地の空き地を花で埋める)を福島県の医療生協に贈呈。
広島医療 生協	●医療支援について 第1陣～第3陣 3/17～4/23 医師・看護師等 各7日間程度 各3名派遣 ●事務支援について ・5/8～29 3回にわたり(4～7日間程度)各1名派遣 ●支援物資について ①3/18 輸送部隊3名 ②4/22 トラック2台相当 ②事務支援先(仙台若林クリニック)の要請で支援物資を送った。 ●人的支援について ボランティアコーディネーター(宮城県 各1週間)各2名派遣 ●病院等窓口に、募金箱を設置。職員は1日分の給与を目安にカンパ。 ●医療福祉連合会の呼びかけで福島の医療生協に放射線測定器を送るため1支部1万円のカンパに取り組み中。
福山医療 生協	●医療支援(宮城坂総合病院)3/24～29 看護師1名を派遣(血圧計聴診器等を持参) ●募金について ・街頭募金(福山駅前)3/14、3/22、4/14。4/14はWHO世界保健デー行事とあわせて実施(20名参加) ・病院等窓口に募金箱設置。全ての会議・全支部の支部総会で呼びかけ。 ・職員には、手取りの一日分を目安にカンパ協力の呼び掛け。 ・組織として、50万円の義援金支出を決定。 ●8月末 看護師2名派遣予定
生協 ひろしま	●人的支援(同時に支援物資も運ぶ) ・第1陣 みやぎ生協へ3/17～22 職員10名、トラック5台 ・第2陣～第4陣 3/26～4/5 コープふくしま 各6日間 職員各4～5名、トラック2台 ・第5陣～第7陣 4/4～4/15 コープふくしま 6～9日間 職員各4名 ※役割は、店舗組合員の安否確認、倒壊した店舗や組合員宅の瓦礫撤去や片付け、避難所への支援物資の搬送等。 後半は店舗支援。 ●共済支援隊 ・第1陣～第6陣(4/29～5/30)各7日間程度 各2名で共済給付調査。 ●贈呈先 日本赤十字社広島県支部および日本生協連。自らの診療所が被災しても診療を継続する「地球のステージ」主宰者の桑山医師(宮城県)へ支援募金の中から30万円と虹の会(取引先の会)から20万円の計50万円を贈呈。 ・7/13虹の会(取引先の交流組織)定期総会、7/16呉地区で開催した地球のステージで、震災の状況報告がおこなわれた。 ●東日本大震災「ひろしまボラネット応援隊」(県社協)への職員の派遣 ・広島県社協主催の「ひろしまボラネット応援隊」第1陣(5/16～20)へ、職員2名、第2陣(7/4～8)へ職員1名を派遣。 ●日本生協連「ボランティア」への職員の派遣 ・7/18～8/3 各7日間程度 3回 職員各2名
日立造船 因島生協	●日本生協連へ生活支援物資(カイロ等)提供(尾道物流センターへ持込み)。 ●3/12～、店舗をはじめ各部署で募金活動実施。 ●家庭会運営委員が、毎月店頭での募金活動を実施。 ●イベント開催時には毎回、家庭会運営委員の協力で、募金活動を実施。
竹原生協	●宅配時の募金活動を実施。 ●店舗での募金活動を継続実施

次ページへ続く▶

生協名	取り組み
グリーン コープ ひろしま	●共同購入にて募金実施。 ●生活支援物資の提供の呼びかけと回収(3/21～4/1) ●第二次復興支援募金の呼びかけ(5/9～7/末) ●復興支援に向けて、7月初旬より現地へ毎週1名ずつスタッフを派遣。(～8/13)
広島大学 生協	●3/13より募金開始。新入生と保護者の「部屋探し」特設会場に、募金箱設置。 ●全国大学生協連を通じ、東北大生協共済加入や給付受付の支援に共済担当職員1名を5日間派遣。 ●組織部学生が、店舗の募金回収と強化の取り組みを実施。 ●夏の恒例企画「冷麺ラリー」(食堂部)で義援金10円上乘せ企画を実施(6/28～7/11)、合計で4,467食の利用により44,670円集まった。 ●全国大学生協連の学生ボランティア活動の募集受付窓口となった。6名の広大生組合員が宮城県でのボランティアに参加した。
修道大学生協	●各店舗に募金箱設置。
広島県 学校生協	●全組合員(=学校教職員)に、全職場にカンパ要請(振込用紙)。 ●震災復興支援企画チラシの展開
広島県 高校生協	●職員カンパ実施。 ●トレーニングウェア248着を提供。生協ひろしまの支援トラックにて運搬。 ●COOP商品普及月間に、震災復興支援価格(通常価格に上乘せ)実施。
広島県 労済生協	●組合員の被災調査と共済金支払いを全国動員で実施 ①現場調査の状況 3/24～7/20まで17次・3,340名(内、広島から72名)の動員による現場調査を実施。福島県 非難区域に対しても調査班を派遣(10名) ②被災受付状況 110,993件(7/13現在) ③共済金支払い状況 火災共済・自然災害共済 82,084,136,258円 生命共済 195,020,000円 ●県本部・支所に募金箱を設置しお客様へのカンパ要請 ●全労済(全国)として被災自治体に対し組織カンパ1億1千万円
コープ 中国四国 事業連合	●3/17、軽油5000リットルを水戸に向け出発。 ●3/17～3/20日本生協連尾道DCに支援物資を納品 ●お米、スナック、水容器、カイロ、毛布等、計1万6千点強を車載した10トン車2台分を3/20(日)19時過ぎにコープふくしまに届けた。 ●日本生協連より、みやぎ生協富谷物流センターと日本生協連桶川DCに大量の支援物資が集まったため、荷捌きをできるフォークリフトの運用資格を持った担当者の派遣依頼に対し、物流部課長を派遣(3/19～3/25)。 ●1商品1円募金企画(想いを届けよう!東日本へ「ご利用1点につき1円支援」)の実施。食品第一媒体表紙、裏表紙の商品に1点1円の支援金を設定。今年度5月2回～12月4回で1,400万円の支援目標金額。また雑誌媒体(キャロット)でも企画全品に1点1円の支援金を設定。今年度6月1回～12月4回で450万円の支援目標金額。 ●復興支援・応援商品(復興支援・応援プレスレット)の企画実施。5月初旬から年内常時受注。仕入れ差額を支援金として積み立てる。

～2011年度県連総会閉会挨拶より～

東日本大震災の被災地の復興と被災者救援は、私たち生活協同組合陣営に課せられた最も大きな課題であると考えます。助け合いと組合員の生活向上、人と人のつながりを目的として発足した生活協同組合の真価は、東日本大震災の被災者の皆さんの生活再建にどれだけ役立つことができるかにかかっていると考えます。

阪神・淡路大震災が発生した1995年、私たちは地震被害に対応できる制度は(地震保険以外に)持っておらず、二重ローンの問題などたくさん問題が指摘されました。この経験に基づき、日本生協連、連合、生産性本部、兵庫県による「自然災害に対する国民的保障を求める国民会議」は2,500万人の署名を集め、98年4月28日「被災者生活再建支援法」が成立しました。発足当初の見舞金は最高100万円でしたが現在は300万円となりました。その後2000年にコープ共済と全労済に自然災害共済ができ、2010年4月には大型の自然災害共済も誕生しました。

日本生協連を中心に組合員の願いが歴史を変える制度を作ってきたのです。

県生協連では2月23日に大規模災害図上演習を実施し、そして悔やみきれない3月11日です。東日本大震災の救援に役立つことができなければ、生活協同組合の価値が危ういと考えます。この一年すべての組織活動は東日本大震災を中心に廻っていかなければならないと考えます。

(常務理事 馬場英彰)

2011年度通常総会 報告

2011年6月23日(木)に2011年度広島県生協連通常総会(於鯉城会館)を開催し、議案すべて承認いただきました。3月11日未曾有の災害をもたらした東日本大震災および福島原子力発電所の事故は、今のくらし方や地域のつながりについて問いかけており、生協も協同組合の原点に立ち返り平和で安心してらせる地域社会をめざしてくらしの諸課題に取り組むことが確認されました。



挨拶される湯崎広島県知事

【役員名簿】

役職	名前	所属生協	所属生協役職
会長理事	富田 巖	生活協同組合ひろしま	特別顧問
専務理事	岡村 信秀	(常勤)	—
常務理事	難波 隆宏	広島県学校生活協同組合	専務理事
常務理事	馬場 英彰	広島県労働者共済生活協同組合	専務理事
常務理事	盛谷 博文	広島中央保健生活協同組合	専務理事
常務理事	高田 公喜	生活協同組合ひろしま	常務理事
理事	上田 久子	生活協同組合ひろしま	理事
理事	近江 和子	広島中央保健生活協同組合	理事
理事	岡野 龍広	日立造船因島生活協同組合	理事長
理事	川本 信枝	生活協同組合ひろしま	理事
理事	北島 修	グリーンコープ生活協同組合ひろしま	専務理事
理事	高橋 幸博	広島県高等学校生活協同組合	専務理事
理事	斉藤 孝司	広島医療生活協同組合	専務理事
理事	武田 孝治	竹原生協同組合	理事長
理事	田中 嘉市	広島修道大学生生活協同組合	専務理事
理事	松山 智	福山医療生活協同組合	副理事長
理事	吉山 功一	広島大学消費生活協同組合	専務理事
監事	小泉 信司	生活協同組合連合会コープ中国四国事業連合	専務理事
監事	宇田川 和代	広島医療生活協同組合	副理事長

【退任役員】

役職	名前	所属生協	所属生協役職
副会長理事	田頭 俊彦	日立造船因島生活協同組合	顧問
常務理事	土井 律紀	生活協同組合ひろしま	副理事長
理事	橋野 俊子	生活協同組合ひろしま	理事
理事	神尾 容子	日立造船因島生活協同組合	理事
監事	大越 和郎	広島中央保健生活協同組合	副理事長

【来賓】

- 湯崎英彦様(広島県知事)
- 村上光雄様(JA広島中央会会長)
- 宮地 稔様(広島県労働者福祉協議会会長)
- 瀬野周子様(広島県消費者団体連絡協議会会長)
- 山崎若水様
(日本生活協同組合連合会中四国地連事務局)

2011年度の重点課題

- 会員生協の経営基盤の強化と連帯活動を推進します。
- くらしの安全・安心にかかわる諸課題に取り組みます。
- 平和の確立と核兵器廃絶の取り組みを推進します。
- 行政や諸団体との連携を強め、地域共同のネットワークを推進します。
- 広報・渉外活動を強化します。
- 県連ビジョンを策定します。

第1回経営セミナーを開催しました

【テーマ】「『日本の生協の2020年ビジョン』について」

【講師】日本生活協同組合連合会 政策企画部部長 小熊 竹彦さん

【参加】11会員生協60名

総会後の経営セミナーでは、日本生協連がビジョンを策定するにあたり、事務局責任者として全国で2年間かけて、職員／組合員を対象にしたワークショップで現状を把握し、抽出した課題や問題意識についてお話しいただきました。続いて、「人と人がつながり、笑顔があふれ、信頼が広がる新しい社会の実現」のための、5つのアクションプランについて解説いただきました。



経営セミナー講師小熊氏

奇しくも東日本大震災を経験し、2012年には国際協同組合年を控えている今、生活協同組合の存在意義が問われていることを、再認識させられる内容でした。今後、「日本の生協の2020年ビジョン」を会員生協の役職員全体で共有化するとともに、今年度いっぱいかけて作成予定の「県連ビジョン」に落とし込んで、具現化していくことが、県連としての課題です。

5つのアクションプラン

- ①ふだんのくらしへの役立ち
- ②地域社会づくりへの参加
- ③世界と日本社会への貢献
- ④元気な組織と健全な経営づくり
- ⑤さらなる連帯の推進と活動基盤の整備



広島県学校生活協同組合

組合員数、出資金、事業高は
2011年3月31日現在

〒732-0052 広島市東区光町2丁目8-32 エコード広島2階 Tel.082-264-3311

- | | | | |
|---------|-------------|---------|---|
| ■代表者名 | 理事長 研本 正明 | ■活動エリア | 広島県内の小・中学校、共同調理場、幼稚園、保育所、教育委員会及び教育団体の職域 |
| ■組合員数 | 19,299人 | ■役員数 | (常勤理事)2人、(非常勤理事)19人、(非常勤監事)4人 |
| ■事業高 | 8億8,672万円 | ■職員数 | (正規)8人、(嘱託)2人、(定時)4人 |
| ■出資金 | 4億2,992万円 | ■HPアドレス | http://hiro-gakkouseikyoku.or.jp/ |
| ■設立登記年月 | 1948年12月28日 | | |

6月28日(火)広島県学校生協第58回通常総代会が開催されました。2010年度の総供給高は8億8,672万円と前年比△2,215万円(97.6%)でした。また、学校生協事務所建物の大規模改修やコンピュータ基幹システムの入替え等、大型事業による支出が重なり、1955年に学校生協を再建して以来、初めて当期剰余金が111万円の欠損となりました。大規模改修事業等の目的積立金を取り崩したため、当期末処分剰余金は2,554万円となりましたが、大変厳しい結果に終わりました。

近年、団塊世代教職員の大量退職の一方で、若年層の生協加入率が低下しています。組合員のくらしを守るために、安全安心を基本とした生協活動の意義を理解してもらうための取り組みを行うとともに、新コンピュータ基幹システムを活用した事業展開の強化を図るなど、より魅力的な生協活動を推進して行くことが確認されました。

総代会で提案された5つの議案は全て賛成多数で承認されました。



広島県高等学校生活協同組合

組合員数、事業高、出資金は
2011年3月31日現在

〒730-0047 広島市中区平野町8-15 カレントコスモ3F Tel.082-244-2311

- | | | | |
|---------|-----------|---------|---|
| ■代表者名 | 理事長 守本 秀樹 | ■活動エリア | 広島県内の公立高等学校、特別支援学校 |
| ■組合員数 | 6,238人 | ■役員数 | (常勤理事)1人、(非常勤理事)30人、(非常勤監事)5人 |
| ■事業高 | 489,616千円 | ■職員数 | 4.8人(正規換算数) |
| ■出資金 | 191,033千円 | ■HPアドレス | http://www.koukouseikyoku.or.jp/ |
| ■設立登記年月 | 1957年1月 | | |

6月25日(土)に第56回通常総代会を開催し、景気の低迷、消費意欲の低下、引き続き人件費抑制の動き及び学校状況の変化など経営環境の厳しさを確認しました。

そのことを克服し、経営の安定化を図るために、組合員数の拡大、新規採用者を含む未加入者への加入促進の取り組みとともに退職者への働きかけを強めることを事務局、職場の共通の課題とすることとしました。

自らが出資し、利用し、運営に参加し、いのちと暮らしを守る主体的な、賢い消費者となるために生活協同組合及びその運動の意義はこのような状況だからこそ大きいと言えます。

ヒロシマの高校生協として平和運動への参加は勿論のことこれまでの取り組みに加えて復興支援活動を社会貢献活動として位置づけ積極的に参加します。

職員数の少ない事業体ですが、そのよさ・利点を生かして、組合員の生活の向上、安全・安心を追求するサービスを展開したいと思います。



広島大学消費生活協同組合

組合員数、出資金、事業高は
2011年2月末日現在

〒739-0046 東広島市鏡山1丁目4-5 広島大学会館内 Tel.082-424-2525

- | | | | |
|---------|-------------|---------|---|
| ■代表者名 | 理事長 河西 英通 | ■活動エリア | 広島大学の職域 |
| ■組合員数 | 22,490人 | ■役員数 | (常勤理事)4人、(非常勤理事)24人、(非常勤監事)6人 |
| ■事業高 | 3,163,233千円 | ■職員数 | (正規)28人、(定時)172人 |
| ■出資金 | 293,348千円 | ■HPアドレス | http://www.hucoop.jp/ |
| ■設立登記年月 | 1972年2月 | | |

2011年度活動方針の主な構成は以下の通りです。

〈基本テーマ〉「組合員に貢献する事業の推進によって経営の再建を」、「組合員の生活から組織・事業の運営を」

〈生協全体での重要課題〉①新学期事業・活動、②中期計画の策定、③広報機能の強化、④生協設立40周年を記念する企画の検討・実施、⑤東日本大震災への対応

広島生協では新しい「食」事業政策を策定しました。食料や食材の生産や流通のグローバル化の進展、添加物やアレルゲン、カロリーや塩分など食に対して必要とされる情報の広がり、食事が身体や生活に及ぼす様々な影響などが次々と明らかになるなど、自立した食生活を送っていくための必要とされる情報は増加し、深化しています。そのような状況の中、組合員への食育、そのことによる組合員の「食における自立」を進めながら、「安全・安心」を第一に、財務・労務等も含めた食堂事業構造の改善を図っていくことを宣言しています。具体的には大学生協中四国事業連合で共同運用している食堂運営方式を導入し、ミールカードの普及を進めています。今年4月には2店舗目がリニューアルオープンし、サラダバーや季節のフェアを実施するメニュースタイルに刷新し利用も伸びています。





広島修道大学生生活協同組合

組合員数、出資金、事業高は
2011年2月末日現在

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東1丁目1-1 Tel.082-848-1097

- | | | | |
|---------|-----------|---------|---|
| ■代表者名 | 理事長 針持 和郎 | ■活動エリア | 広島修道大学内 |
| ■組合員数 | 6,838人 | ■役員数 | (常勤理事)1人、(非常勤理事)14人、(非常勤監事)3人 |
| ■事業高 | 740,296千円 | ■職員数 | (正規)4人、(定時)26人 |
| ■出資金 | 67,998千円 | ■HPアドレス | http://ha3.seikyoku.ne.jp/home/shudo-univcoop/ |
| ■設立登記年月 | 1972年11月 | | |

学校の福利厚生事業の担い手として、学生・教職員・組合員に良い品をより安く、より便利に提供するとともに、教育・研究の場にふさわしい様々な事業を行っています。購買・書籍・旅行サービス。カフェテリアを中心とした生協店舗は、組合員の憩いの場であり、勉学研究を支える場となっています。また、「もしもの時はみんなの力で」をモットーに、学生が安心して生活できるよう、共済事業にも取り組んでいます。



新入生交流会の様子▶



広島中央保健生活協同組合

組合員数、出資金、事業高は
2011年3月31日現在

〒733-0023 広島市西区都町42-7 Tel.082-292-3179

- | | | | |
|---------|-------------|---------|---|
| ■代表者名 | 理事長 吉富 啓一郎 | ■活動エリア | 広島市内を中心に県内全域 |
| ■組合員数 | 36,323人 | ■役員数 | (常勤理事)9人、(非常勤理事)17人、(非常勤監事)4人 |
| ■事業高 | 5,036,056千円 | ■職員数 | (正規)392人 (定時)318人 |
| ■出資金 | 938,435千円 | ■HPアドレス | http://www.hch.coop/ |
| ■設立登記年月 | 1955年9月 | | |

当生協は、まちづくりをすすめる中で運動と事業を通して1955年に設立しました。組合員が健康で長生きができ、安心して住み続けられるまちづくりをめざして、保健大学やくらしと福祉の学校、宅配給食など多彩な取り組みを進めています。今後も健康・医療・くらしなどの問題を持ち寄り、医療の専門家といっしょに問題解決のために運動を進め、医療生協の「患者の権利章典」「医療生協の介護」に基づいた事業活動をすすめていきます。

〈2011年度方針の概要〉

(方針の基調)

2011年度方針は「出合い、ふれあい、支えあい」の運動をさらに発展させ、笑顔で安心して住み続けられるまちづくりを基調とし、組合員の夢をかたちにする第5次長期計画のスタートの年とします。

(方針の重点)

1. 組合員と地域の要求に応える第5次長期計画を具体化し実践します
2. 「出合い・ふれあい・支え合い」の運動を発展させ、健康づくり、助け合いの輪を広げます
3. 保健生協の特徴を活かして事業を発展させ、強く大きな組織づくりをすすめます
4. 医療福祉生協連とともに、人権の尊重と社会保障の充実、健康で平和な社会の実現をめざして行動します。



▲うちらの夢を語ろう会



福山医療生活協同組合

組合員数、出資金、事業高は
2011年3月31日現在

〒720-0082 福山市木之庄町3丁目6-10 Tel.084-973-2280

- | | | | |
|---------|-----------|---------|---|
| ■代表者名 | 理事長 服部 融憲 | ■活動エリア | 県東部一円 |
| ■組合員数 | 12,702人 | ■役員数 | (常勤理事)4人、(非常勤理事)8人、(非常勤監事)3人 |
| ■事業高 | 605,117千円 | ■職員数 | (常勤)56人、(非常勤)31人、(登録ヘルパー)24人 |
| ■出資金 | 369,325千円 | ■HPアドレス | http://www.fico-op.jp/ |
| ■設立登記年月 | 1980年1月 | | |

2011年度の総代会の決定は次のとおりです。

2010年度は福山医療生協30周年の年でした。30周年記念誌の発行、映画やコンサートなど多彩な取り組みを行いました。方針では、「出合い・ふれあい・支え合い」柱にし、スローガンで「人々とのかずなを強め医(福)・食・住の事業と活動を広げて、安心して住み続けられるまちを作ろう」と決めました。また、この方向で5カ年計画も策定いたしました。

今、絆づくりが一番大事なのは、班づくり、それも地域ごとの班づくりです。東日本大震災でも絆が強調されていますが、これからの高齢化社会で、孤独死や一人ぼっちの高齢者を作らないためにも地域班づくりが大きなカギだと決定いたしました。

事業展開では、医療生協ではできない事業もあるので、子会社を作ることも決定いたしました。組合員アンケートで要望の高かった、通院送迎、食事、高齢者住宅に取り組みます。また、葬祭事業や共同墓地の運営なども模索していきます。



▲WHO世界保健デーでの駅前行動



広島医療生活協同組合

組合員数、出資金、事業高は
2011年3月31日現在

〒731-0121 広島市安佐南区中須2丁目16-6 Tel.082-879-1111

- | | | | |
|---------|-------------|---------|---|
| ■代表者名 | 理事長 尾野 展昭 | ■活動エリア | 広島市を中心に県内全域 |
| ■組合員数 | 47,010人 | ■役員数 | (常勤理事)7人、(非常勤理事)17人、(非常勤監事)4人 |
| ■事業高 | 1,119,428千円 | ■職員数 | (正規)401人、(定時)178人 |
| ■出資金 | 4,950,988千円 | ■HPアドレス | http://www.hiroshimairyo.or.jp |
| ■設立登記年月 | 1967年5月24日 | | |

1966年10月、300人の組合員、30万円の出資金で創立総会を開催して、今年で45周年の節目の年を迎えます。事業活動では医療事業においては「患者の権利章典」を日常活動の指針とし、199床の広島共立病院を中心に4つの内科診療所と1つの歯科診療所を運営し、介護事業では「医療生協の介護」を日常活動の指針とし、訪問看護、訪問介護、ショートステイ、デイケア・デイサービスの各事業をすすめています。

2011年度は下記の4つの基本方針をかがね事業と運動をすすめています。

1. 広島医療生協の理念(参加と協同、そして連携)、「患者の権利章典」「医療生協の介護」を共有し、実践する組合員・職員に成長します。
2. 新病院実現にむけて1億5千万円以上の自己資金を確保(出資金純増1億1千万円と経常剰余1億7500万円)し、しっかりした経営と運動の基盤をつくり、「医(福)・食・住」の事業と活動を発展させます。
3. 広島医療生協をあげて2012年度の研修医の絶対確保と年間入院患者3000人以上を必ず達成し、広島共立病院の臨床研修指定病院※を継続します。
4. 地域の人々の要求や社会矛盾と正面から向き合い、社会保障の充実と医療・福祉(介護)の連携による安心・安全のまちづくりに取り組みます。

2012年に新病院着工を!



生活協同組合ひろしま

組合員数、出資金、事業高は
2011年3月31日現在

〒739-0495 広島県廿日市市大野原1丁目2-10 Tel.0829-50-0350

- | | | | |
|---------|--------------|---------|---|
| ■代表者名 | 理事長 林 辰也 | ■活動エリア | 県内全域 |
| ■組合員数 | 380,991名 | ■役員数 | (常勤理事)5名、(非常勤理事)13名、(常勤監事)1名、(非常勤監事)5名 |
| ■事業高 | 12,927,589千円 | ■職員数 | (正規)670名、(定時)1,763名、(福祉専門職員・ヘルパー)632名 |
| ■出資金 | 42,756,832千円 | ■HPアドレス | http://www.hiroshima.coop/ |
| ■設立登記年月 | 1971年5月 | | |

第27回通常総代会を6月15日に開催し、2010年度報告と決算、2011年度計画と予算、役員改選などについて決定しました。

2009年度は経常赤字となり組合員さんにご心配をおかけしましたが、2010年度は増収増益となり黒字で終了することができました。しかし、無店舗事業・店舗事業とも好調とはいえないのが実状です。一方、福祉事業は堅調に推移しています。

2011年度は、方針として「誰もが安心してくらすることをめざして、組合員の求める商品やサービスを提供します」を掲げ、組合員に一層満足していただける事業と活動を展開します。具体的には、「ぜったいしまん商品」という名称で組合員と職員のアンケートにより選ばれた毎月1品目の良いところやおいしい食べ方などを組合員にお知らせし普及していく取り組みや、店舗では「スマートプライス」ということでNB商品の値下げをおこないます。また、開設2年目となる農業生産法人「ハートランドひろしま」では、土耕やハウス栽培に加え7月から養液栽培を開始します。養液栽培は知的障がいを持つ方の働く場としても設定して4月には知的障がい者10名を迎え入れ、現在、農業指導をおこなっています。そして、3月11日に発生した東日本大震災の被災生協や被災者に対して、継続した支援をおこなうとともに、広島県での災害発生を想定した防災・減災の取り組みをおこないます。

生協経営も組合員のくらしも厳しいと予測される中で、少しでも組合員のお役にたてる生協になるよう、様々な側面から取り組みをおこないます。



広島県生活協同組合連合会

組合員数、出資金、事業高は
2011年3月31日現在

〒730-0802 広島市中区本川町2丁目6-11 Tel.082-532-1300

- | | | | |
|---------|----------------|---------|--|
| ■代表者名 | 会長理事 富田 巖 | ■会員生協内訳 | 購買生協(地域・職域)6、医療生協3、大学生協2、労済生協1、住宅生協1、事業連合1 |
| ■会員数 | 14生協(977,830人) | ■役員数 | (常勤理事)1人、(非常勤理事)16人、(非常勤監事)2人 |
| ■事業高 | 34,283千円 | ■職員数 | (職員)1人、(定時)2人 |
| ■出資金 | 24,864千円 | ■HPアドレス | HPアドレス http://hiroshima.kenren-coop.jp/ |
| ■設立登記年月 | 1967年9月 | | |



日立造船因島生活協同組合

組合員数、出資金、事業高は
2011年3月31日現在

〒722-2324 広島県尾道市因島田熊町4508-1 Tel.0845-22-2560

- | | |
|------------------|---|
| ■代表者名 理事長 岡野 龍広 | ■活動エリア 尾道市因島、瀬戸田町、愛媛県越智郡上島町(弓削・生名・岩城・佐島) |
| ■組合員数 13,290人 | ■役員数 (常勤理事)6人、(非常勤理事)9人、(非常勤監事)3人 |
| ■事業高 3,147,046千円 | ■職員数 (正規)42人、(定時)91人 |
| ■出資金 380,484千円 | ■HPアドレス http://www.innoshima-seikyou.com/ |
| ■設立登記年月 1949年11月 | |

日立因島生協は、店舗事業(食品店舗5店、衣料店舗(FC契約)1店、100円ショップ(委託)共同購入事業(1支所))葬祭事業(仏壇仏具2店ギフトショップ含む、外食(2店))。職域事業(4店)で展開しています。

(平成23年度基本方針)

- (1) 経営改革を進め、適切な経常剰余金の確保をします。
 - ① 経損益構造の向上 ② 効率的な生産性と人材育成
- (2) 業務構造改革を進め、組合員に支持される事業を確立します。
 - ① 店舗事業の構造改革の推進 ② 個配事業を軸とした無店舗事業の利用拡大
 - ③ 葬祭事業の信頼・満足度アップと関連事業の拡大
 - ④ 東日本大震災による、被災生協・被災者の生活再建支援
- (3) 組合員活動の活性化と参加への促進を図ります。
 - ① 組合員参加の見直し ② 組合員活動の推進。



▲第63回通常総代会の様様



竹原生活協同組合

組合員数、出資金、事業高は
2011年3月31日現在

〒725-0026 竹原市中央1丁目9-11 Tel.0846-22-2636

- | | |
|-----------------|---|
| ■代表者名 理事長 武田 孝治 | ■活動エリア 竹原市、三原市、呉市、東広島市、広島市等9市6町 |
| ■組合員数 10,537人 | ■役員数 (常勤理事)7人、(非常勤理事)6人、(非常勤監事)4人 |
| ■事業高 817,234千円 | ■職員数 (正規)26人、(定時)34人 |
| ■出資金 375,983千円 | ■HPアドレス http://www.takehara-coop.jp/ |
| ■設立登記年月 1964年5月 | |

1964年5月に、三井金属鉱業(株)竹原製錬所の職域生協として設立され、店舗・宅配・燃料・共済の4つを柱に事業を展開しています。竹原市に2店舗営業し、約20年前より週2回・配達料無料の宅配を行い、1万人強の地域生協になりました。

2011年5月28日(土)に、第48回通常総代会を開催し、議案すべてが賛成多数で可決決定されました。2011年度は引き続き厳しい経営環境の中、組合員の生活に安心・安全な商品を提供するため、生協のもつ人的・物的経営資源をより効率的に活用し、経営改善に努めます。具体的には、竹原生協の主要事業の4本柱を中心に、組合員へのサービス向上と「組合員と職員が共につくる思いやり、助け合いの生協」を目指します。



グリーンコープ生活協同組合ひろしま

組合員数、出資金、事業高は
2011年3月31日現在

〒731-0103 広島市安佐南区緑井1丁目28-47 Tel.082-831-1503

- | | |
|------------------|---|
| ■代表者名 理事長 林 和子 | ■活動エリア 県内全域(一部配達していない地域あり) |
| ■組合員数 20,484人 | ■役員数 (常勤理事)3人、(非常勤理事)11人、(非常勤監事)2人 |
| ■事業高 3,298,690千円 | ■職員数 (職員)66人、(定時職員)77人 |
| ■出資金 658,261千円 | ■HPアドレス http://www.greencoop-hiroshima.or.jp/ |
| ■設立登記年月 1993年6月 | |

さる6月8日に第十九期通常総代会が終了しました。今年度は「つながり合って助け合い、支え合う地域をつくっていきましょう!」を基本方針に、豊かな地域作りを目指し、地域に根ざした活動・事業を進めます。より多くの組合員の声を反映するために、県内にある4支部(ひろしま西、ひろしま中央、東広島、福山)それぞれに支部理事会を立ち上げて活動しています。今年度は、産直をさらに発展させていく為に、配送担当者が産地に出向いての研修、また、グリーンコープの生産者・メーカーを招いての交流・学習会などを通して組合員さんに語る言葉を多く発見していきます。さらに、地域福祉の取り組みとして、2010年3月22日に開所したデイサービスセンター「夢*グリーン」の初年度を成功させていきます。今後も、安心・安全な生命を育む食べものと「助け合い」の気持が通った地域福祉の取り組みをすすめていきます。(写真は、配送担当者が産地に伺い、人参の収穫のお手伝いをさせていただいているところです。)





広島県労働者共済生活協同組合

組合員数、出資金、事業高は
2011年5月31日現在

〒732-8505 広島市東区曙4丁目1-28 Tel.0120-39-6031

■代表者名	高松 俊二	■活動エリア	全県
■組合員数	394,351人	■役員数	(常勤理事)1人、(非常勤理事)25人、(非常勤監事)4人
■事業高	105,955,273円	■職員数	(正規)33人、(定時)37人
■出資金	2,549,661,400円	■HPアドレス	http://www.zenrosai.coop/
■設立登記年月	1959年1月		

▼特別決議

2011年7月28日(木)にホテルグランヴィア広島にて第53回広島県労働者共済生活協同組合通常総代会および第2回全労済広島県本部代表者会議が開催され、代議員132名の参加がありました。

事業推進活動についての報告、2010年度総括を踏まえ議案内容を審議しました。

今回は東日本大震災被災者救援に対する特別決議もあわせて、全ての議案について賛成多数で承認をいただきました。



〈特別決議〉

東日本大震災被災者救援の責任を果たし、労働者共済運動の再構築を図ろう

3月11日発生した東日本大震災は、これまでに誰も経験したことのない未曾有の大災害となり、実に被災受付は10万件を超え、今なお増加が続いている。今回の東日本大震災の被災地の復興と被災した組合員の救援は私たちの生活協同組合、労働者共済運動の陣営に課せられた最も大きな責務である。

過去、私たちは阪神・淡路大震災の経験から連合などと共に「自然災害に対する国民的保障制度を求める国民会議」を発足させ、2,500万人署名を背景として社会的な生活再建システムとしての「被災者生活再建支援法」(1998年)を成立させた。そして2000年に被災者の自助努力による生活再建を支援する共済制度として「自然災害共済」を発足させた。〈中略〉

私たちは、今回の災害を機に、こうした労働者共済運動の歴史と意義について改めて組合員と共に認識する必要がある。そして、今こそ労働者共済運動と全労済の真価を発揮し全労済の全組織、全役員職員は被災地の救援に全力を尽くさなくてはならない。

全労済活動50年の歴史を振り返り、東日本大震災の経験が教えてくれた労働者共済運動の価値、助け合い活動の意義と拡大について全員で再認識しなければならない。

県内の全労働組合と全県民に対するこれまで以上の共済運動の強化に努めなければならない。

自然災害共済の拡大を図ることが、東日本大震災の被災者を救うことである。また、自然災害共済以外の共済においても、更に拡大していくことが、磐石な事業基盤を構築し、組合員に対し「最大の安心の提供」を続ける唯一の方法である。

私たちは今日ここに、「助け合いの精神」を合言葉に、全労済全協力団体、全役員職員は全力を挙げ、事業推進活動を積極的に展開することを決議する。

2011年7月28日 全労済広島県本部第2回代表者会



生活協同組合連合会コープ中国四国事業連合 (コープCSネット)

組合員数、供給高、出資金は2011年3月31日現在

〒732-8504 広島県広島市東区二葉の里1丁目1-46 Tel.082-236-6835

■代表者名	代表理事・理事長 三橋 幸夫	■設立登記年月	2005年10月3日
■会 員 生 協	鳥取県生協、生協しまね、おかやまコープ、生協ひろしま、コープやまぐち、とくしま生協、コープかがわ、コープえひめ、こうち生協(9生協)	■役 員 数	(常勤理事)2人、(非常勤理事)18人、(非常勤監事)4人
■組 合 員 数	1,598,234人(9生協合計)	■職 員 数	(正規職員)99人、(定時職員)14人、(派遣契約職員含む)、(嘱託職員)16人
■供 給 高	1,823億0千4百万円(9生協合計)	■HPアドレス	http://www.csnet.coop/
■出 資 金	558億4千6百万円(9生協合計)		
■出 資 金	10億6,600万円(事業連合)		

〈コープCSネット 第3次中期計画骨子〉

総会で承認された2011年度～2013年 第3次中期計画の基調は次のとおりです。

第1次・第2次中期計画は総花的なものとなっていますが、第3次中期計画については、事業連合設立当初の目的である「経済合理性の追求」をさらに進めること、そして確認された「今後の事業連合についての方向性と考え方」を具体化すること、コープCSネット自体の様々な面からの見直し・適正化とあわせて、課題を絞り込み、それを実行することで、会員生協への経営貢献・中国四国宅配事業の確立を目指すものとします。

- (1) 宅配事業においては、商品開発・品揃え・媒体強化等MD改革をさらに進め、会員生協の事業・組合員の生活に貢献できる事業を目指します。
- (2) 運営機能の統合・集中化と分散機能を明確化し、集中化することでコスト削減・経営貢献を行い、会員生協連結での経常剰余率3%以上の達成を目指します。
- (3) 事業連合としてのあるべき体制・コスト構造・損益構造・経営スタイルを明確化し、改善を行うと同時に、将来展望の持てる組織づくりを行います。
- (4) 日本生協連や全国の生協・事業連合との協力関係を強め、連帯することで可能な限りの経済合理性を追求します。
- (5) 会員生協とのコミュニケーション強化と連携の中で、信頼関係を強め、より強固な連帯組織づくりを目指します。



▲理事長挨拶



▲採択風景

審議会報告

当連合会は広島県の審議会(環境・消費生活・県営住宅管理・森林)や協議会等の委員の委嘱を受けています。その中から、広島県消費生活審議会と広島県介護サービス質向上委員会を紹介します。

県連が参加する主な審議会・協議会

- ・広島県環境審議会
- ・広島県食品安全推進協議会
- ・広島県森林審議会
- ・広島県医療安全推進協議会
- ・広島県消費生活審議会
- ・介護サービス質向上委員会
- ・広島県県営住宅管理審議会
- ・広島県共同募金会配分委員会

広島県消費生活審議会

2010年度の広島県消費生活審議会では、知事の諮問事項である消費者基本計画(5ヶ年計画)について審議を行いました。悪質商法や食品の偽装表示等による相次ぐ消費者被害の発生などを踏まえ、消費者である県民が安全・安心な暮らしを確保できるよう、今後の施策についてまとめたもので期間は平成22年度～26年度。特徴は「消費者の自立」に向けた取り組みであること、商品・サービス取引の多様性、情報化の進歩、食品業界の事件・事故により消費者自らの力で不利益を被らないようにするための対策が盛り込まれている点です。事業者とともに取り組んでいくことも重要なポイントと考えます。このきめ細かな計画がこれから先消費者の生活にいか浸透生かされていっているか、確認が必要となってくると思います。とりわけ消費者被害に遭いやすい高齢者などにはしっかり伝わるよう私たちも、努めていきたいと思っています。

(コープアドバイザー 谷保清美)

広島県介護サービス質向上委員会

目的は、介護保険制度を円滑に実施し、将来にわたっても安定的に運営するために、介護サービス全般の質を向上させる方策を検討することです。委員の構成は、保健・医療・福祉関係者、学識経験者、保険者、利用者代表等で、年3回開催されます。

2010年度は、広島県介護給付適正化計画、施設整備の進捗状況、介護支援専門員(ケアマネジャー)の実態調査、介護職員の処遇改善状況などが議題となりました。

これらのうち、広島県介護給付適正化計画は、平成20～22年度に県内各自治体で6項目の課題につき取り組まれてきたものです。今年度は、取り組みの達成状況の検証と見直し、それに基づく次期計画の検討の年となります。検討する中で、「適正化がサービスの低下とならないように」「介護予防、健康づくりのいっそうの重視を」「制度そのものが、まだまだ知られていないので周知法の工夫を」等の意見が多く出されました。

また、昨年12月開催の委員会では、直前に公表された「介護保険制度の見直しに関する意見の概要」(社会保障審議会介護保険部会)も議題に上りました。「地域包括ケアシステム」の実現と、給付の効率化・重点化で持続可能な介護保険制度の構築が、見直しの基本的考え方ですが、異なった意見並記の項目も多くあります。介護保険制度には、様々な意見、要望があり、私たち一人ひとりが、しっかり考えていかなばとあらためて思います。

(理事 現監事 宇田川和代)

活動日誌

月 日	機関会議	月 日	行事名称
2月3日	第3回常務理事会	1月6日	新春学習交流会
2月18日	第5回理事会	2月23日	大規模災害図上演習
3月3日	第5回組織委員会	3月14日	憲法学習会「わたしたちのくらしと憲法」
4月4日	2010年度監査	3月19日	福祉学習交流会「あなたが輝くコミュニケーションとは…」
4月13日	第6回理事会	4月6日	初級職員研修会
4月27日	第6回組織委員会	5月14日	核兵器廃絶をめざすヒロシマの会総会
6月1日	第4回常務理事会	5月26日	ピースフォーラム
6月23日	県連総会、第1回理事会、経営セミナー	6月4日	第9回消費者ネット広島総会、消費者行政フォーラム
7月13日	第2回理事会	7月5日	広島県消費者団体連絡協議会総会・幹事会・行政懇談会
7月29日	第1回組織委員会	7月6日	広島県協同組合連絡協議会総会、2012国際協同組合年ひろしまキックオフ大会
8月24日	第2回組織委員会	7月23日	平和行進(東広島)
		7月30日	平和行進(呉市)
		7月31日	平和行進(三次市)
		8月2日	平和行進(廿日市)
		8月4日	平和行進集結式、ピースアクションinヒロシマ(～6日)
		8月5日	虹のひろば

広島県生協連のあゆみ

「県連再建をめざして②」 会長理事 富田 巖

実は県連の再建に当たり、多額の負債を抱える旧県連との関係調整が先送りとなっていた。旧県連の負債は広島県からの貸付金約230万円に延滞利息を含めるとその倍額を超えるものであった。旧県連が休止に陥った時の県貸付金は500万円であったが、これを当時の旧県連役員が分割して返済にあたってきた。しかし、旧役員の新県連の所属生協の多くも経営難から解散・休止の状態、存続している生協も僅かとなり返済金が滞る状況が続いていた。新県連では旧県連の負債額の全容(県貸付金含む)が把握できない状況の中で、旧県連を継承していくことは困難であると判断し、新設の県連を目指すことに決定した。

しかし、新設県連の名称については旧県連の登記上の名称である「広島県生活協同組合連合会」が現存しており、同一名称は使用できないことから、この問題の解決が課題となった。

このことは当初から予想していたが、県連設立を優先してきたことから仮称を「広島県生活協同組合新連合会」として設立したところである。特に旧県連の負債問題は難題であり、解決への妙案がない状況であったが、名称問題は旧県連を法定(自然)解散により整理する方があった。この方法は旧県連会員の中で一会員を残して、すべて脱退することにより生協法上の自然解散とすることであった。しかし、旧県連が休止状態となり十年余が経過しており、旧会員の脱退を進める作業は困難を極めたが、何とか一会員(府中勤労者生協)まで辿り着き、念願の法定解散(抹消登記)を実現した。こうして、名称問題は晴れて旧県連名(広島県生活協同組合連合会)を継承することができた。

トピックス

核兵器廃絶署名 10万筆を突破

生協連では「核兵器も戦争もない平和な未来を子どもたちに手渡すため」に、平和市長会議が呼びかけている「核兵器禁止条約の早期実現を求める要請書」の署名に取り組んでいます。生協ひろしまでは、7月末、すでに10万人を超える署名を集約しました(目標県内20万筆 全国200万筆)。メ切は11月末、平和市長会議から各国政府や国連へ届けることとなっています。引き続き協力よろしくお願いします。

「ベスト消費者サポーター章」を受章

広島県生協連は、2011年5月18日、県庁環境県民局長室にて、抹香尊文局長よりベスト消費者サポーター章の授章の伝達を受けました。これは、平成23年度消費者支援功労者表彰等のひとつで消費者支援活動に顕著な功績のあった個人と団体に対して消費者庁長官よりおくれるものです(消費者庁の創設に伴い新設された章)。

広島県消費者団体連絡協議会、消費者ネット広島などとの協力関係や行政との協働により、県民の消費者意識の向上や消費者被害の防止を目的に地道に支援活動を行っていることが認められたものと受け止めています。

これをひとつの励みとして、さらに活動を促進したいと、会長がお礼と新たな決意を述べました。



お知らせ

第40回 広島県生協大会 ご案内

〈日 時〉2011年10月28日(金) 10:00~10:50

〈場 所〉YMCA国際文化ホール

〈内 容〉会員生協の支援活動の報告を受け、東日本大震災が発した教訓(危機管理体制の見直しや地域での絆、全国の連帯等)と生協の今後の課題について考えます。

戦争も核兵器もない平和な世界を・市民の集いのご案内

〈日 時〉2011年10月28日(金) 11:00~12:50

〈場 所〉YMCA国際文化ホール

〈内 容〉平和市長会議報告(松井広島市長)を受け、県内加盟自治体や県民が意見交換を行い認識の共有化を図ります。